



1学期 明るい子(交わりの参加する生活)

第1期「たのしいこどものもり」

\*新しい社会への不安よりもこども園で友だちと遊んだり、発見したりすることへの喜びを味わい、生活意欲が育つ。

2021.7.30

第2期(6月~8月) 期題「たのしい仲間」

\*自分以外にもすてきな仲間がたくさんいることを知る。

No.45-1

\*先生、動物、花、自然界(風、雲、星等)、季節の変化などとの関わりを通して自分で出来る事は自分ですることの楽しさを学んでいく。

**クロークコーナー:**年少さくらさんや、新入の年中たんぼぼさんは、登園後の身支度の仕方や園生活の流れが分かり、自分でやろうとする子が増えました。5/31から衣替えとなり、夏遊び着登園になるとさらに朝の身支度がスムーズに行えるようになりました。コロナ感染予防のため、登園から絵を描く際・食事前から「頂きます」をするまで、帰りの会、園バス乗降時などマスク着用が身に付きました。

そら組さんは夏期保育中(7/26~8/2)ほし組さんは8月末までビーチサンダルで過ごしますが、鼻緒は足の親指と人差し指の間を適度に刺激し脳を活性化させると共に子どもの足を鍛える効果があるそうです。初日、「足を痛がるので運動靴を履いてきました」「うまく履けないと嫌がるので!」と書いていた子ども達も始めはぎこちなく歩いていましたが日増しに上手に歩いていました。また「足が汚れた!」「砂が入った!」と気にする子もいましたが「濡れぞうきん」で綺麗に拭きました。これからそら組さんは長い夏休みに入ります。ほし組さんは保護者の方のお休みの時に、丁寧に身の回りのことができるように見守りながら、温かな応援をお願い致します。9月からの園生活がスムーズにスタートしていく為に生活リズムを崩さないように「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけていかれることを願っています。

**クロークコーナー:**ある日、新入の男の子が「せんせい~!おはよう!きょうはすみれさんがいなくてもひとりでせんぶできたよ!」と自信満々の笑みで教えてくれました。またお当番の開始の音楽がなると、すみれさんと一緒に「おとうばんやりた~い」と年中少さんのお手伝いさんがたくさん来てくれます。食事当番ではすみれさんが絞った台布巾を年中少さんがテーブルに置きに行くコンビネーションに!ほし組さんには年中さんの「ふとん当番」がいます。たんぼぼさんがワクワクハッピー保育でお出かけの日からさくらさんが「ふとんとうばんやりた~い」と連日、始まる時間を待ち構えて手伝ってくれるようになりました。新入・進級から4か月、すみれさんの手助けなしに自分で出来ることが増えたり、すみれさんのお当番がしたり、小さな子や困っている子に優しく声をかけ手助けする姿に嬉しさと共に異年齢保育の良さを実感している今日この頃です。

**絵のコーナー:**登園後身支度を済ませるとクレヨンを持って席に着き、「今日は何を描こうかな・・・」とひとりでじっくり描く姿や友だちとイメージを共通にしながら描く姿が見られています。何を描こうか迷った時はおえかきブックを参考にしながら描く姿もあります。絵のコーナーの中央には頂いたカブト虫やおたまじゃくし(小さいカエルになりました)を飼育しているの特に男の子は興味深々に見ながら「カブト虫を描きたい」とカブト虫を見ながら描いたり、図鑑を見ながら描いていました。また今年も年長児が「ねえねえきて!うれしかったこと」というテーマで住友生命子ども絵画コンクールに普段の4倍もある大きな画用紙に描き出展しました。「うれしかったこと」ということで、縄跳びが跳べるようになったことや遊園地に行ったことなどを描いていました。一段落したコーナーではビー玉の転がし絵を行ったり、紙皿とペンを使いパラソル作りを行いました。ビー玉の転がし絵では箱の中に黒い紙を入れ色のついたビー玉がコロコロ転がり、自然と色が混ざったり、予測不能な模様ができる様子を楽しんだり、引き続き絵の具での塗り絵も楽しみました。子どもたちから色鉛筆でも塗り絵がしたいと色鉛筆の用意もしています。今後も楽しく表現活動ができるようにいろいろな素材を用意していきたいと思ひます。夏休みには1学期描いた絵とクレヨンを持ち帰ります。2学期も気持ちよく描けるようにケースやクレヨンをティッシュで拭いて頂き、また描きやすいようにクレヨンのフィルムをはがして2学期にお持ちください。よろしくお祈りします。

**絵のコーナー:**ビー玉の転がし絵を始める前に、子どもたちと一緒に絵の具を用意しました。「何色がいい?」と聞かされると、「ピンクがいいな!紫色がいいな!」とそれぞれが好きな色をリクエストしていました。「ピンクと紫の絵の具はないから2つの色を混ぜて作らない」と話し、どの色を混ぜたらピンク、紫になるか考えました。年長児が「ピンクは赤と白を混ぜたらできるよ」と以前の経験を生かし教えてくれました。紫は・・・とみんなで考えました。年長児がクレヨンで絵を描いた時、青と赤が重なった所が紫になったことを思い出し、まずはクレヨンでやってみることに・・・青いクレヨンで色を塗った上に赤で塗ると赤紫になりました。みんなで「何だか実験みたいだね!いろんな色ができそうだね!」と実際に絵の具で色を作ると、絵の具の量で微妙に色が変ることもわかりました。一緒に準備することで2つの絵の具を混ぜたらどうなるのだろう?と興味湧いてきたようでもっといろいろな絵の具を混ぜてみたいと興味・関心が広がりました。子ども思いを大切にしていきたいです。



**造形のコーナー:**6月に入り、虫歯予防デー(6月4日)に向けて歯ブラシ・コップ作りを楽しみました。おうちでの経験から「歯磨きには歯磨き粉も必要だね!」との声が挙がり、思い思いに歯磨き粉を作り合う姿が見られました。また、6月には父親参加があり、大好きなお父さんやお母さんと時計作りも楽しみました。お父さんやお母さんと相談して作り、作り終えたとすこく嬉しそうに達成感を味わっている姿が印象的でした。7月には七夕飾り作りが盛り上がりました。造形のコーナー・絵のコーナー・ランチルームと3カ所の笹を見て、「笹飾りを作りたい!」「お願い事書きたい!」とたくさんの子が連日、七夕飾り作りを楽しんでいました。輪繫ぎや三角繫ぎをいくつも作って長く繋げる工夫をしたり、とても細かく切込みを入れた網を作ったりする年長さんの姿に感心しました。そんな年長さんに憧れを抱き、真似して作る子、教えてもらいながら一緒に作る子など異年齢の関わりもたくさん見られました。7月中旬頃になり、こどものもりの園庭で蝉の声が聞こえてくると「蝉さん鳴いてるね!」とこどもたちの間で話題に!その声を聞いて蝉作りを楽しんだり、かき氷・スイカ作りを楽しみました。これからも子どもたちの声を大切にしていながら様々な制作を楽しんでいきたいです♪3期は季節の移り変わりを感じることやハロウィンパーティーでの思い思いの衣装作りとイメージを広げて楽しんでいく予定です。

**造形のコーナー**七夕飾り作りを楽しんでいると「お願い事書きたい!」と造形のコーナーに来たさくらさんの男の子 Aくん。短冊を選び、「書けない…」と困っているとその姿を見たすみれさんの女の子 Bちゃんがゆっくと Aくんの所に行き、「なんてお願いしたいの?」と優しく声をかけてくれました。「いい子になりますよ!ってかきたかったの」と Bちゃんに伝える Aくん。すると Bちゃんはペンを走らせ、Aくんのお願い事を書いてくれました。書き終えた後、Bちゃんは「どこに飾る?」と Aくんの思いを聞きながら笹に飾るところまで一緒に手伝ってくれて「ここがいい?」と最後まで優しく Aくんの目線に立って思いを聞いている姿がみられました。笹にお願い事が飾れたことですこく嬉しそうな表情の Aくん。飾り終わると「ありがとう!」と Bちゃんに伝えていてその Aくんの姿に Bちゃんまで笑顔に…♪お友だち同士や異年齢の関わりから優しさや思いやりの心が育っていますね!

**ごっこ表現のコーナー:**健康診断をきっかけに、子どもたちの「お医者さんになってみたい!」の声から始まったお医者さんごっこ!お医者さん、看護師さん、患者さんになりきり、おもしろい動きや本物らしいセリフが飛び出す度、子どもたちからは自然に笑いが起き、目を輝かせてやりとりを楽しみました。「受付に診察券を出すんだよ」「ぼたぼたおちる(点滴)のがあるといいよ」「救急車もあるといいな」と、より楽しくなるように考えて物を作り、だんだん本物の病院らしくなっていました。受付係の大きい子に案内され、小さい子も上手に椅子で順番を待っていました。おまごとの家からベビーカーでお医者さんへ出かけるなど、様々なごっこ遊びへと発展し生き生きと動く子どもたちでした。カプラを積んで出来た作品の写真を太陽のお部屋の掲示板に飾ると、それを見て「〇〇君よりも高く積むよ」「次はこの形に挑戦!」と自分たちで課題を見つけ取り組む年長さんの姿があります。床の上では、電車や線路を並べたり、ウッティクリックで車やお家を作ったり、少人数の友だちとイメージの世界で楽しむ姿がたくさん見られました。7月からは舞台の上での大型積み木も始まり、貸し借りのトラブル等も話し合いながら、イメージを共有して遊ぶ楽しさを感じ始めています。園庭では小さい子を中心に楽器やダンスを楽しんできました。梅雨明けからはドーンという太鼓の音と盆踊りで夏祭りの雰囲気を楽しんでいます。

**ごっこ表現のコーナー:**健康診断をきっかけに、「太陽の部屋にお医者さんがあったらいいね」の声からはじまったお医者さんごっこ!「病院にはどんなものがある?」と聞くと、「ちょうしんき・たいおんけい・みみをみるもの・はなをすうもの」などおしえてくれ、「ねるところもあるといいよ!」と長椅子を運び、お薬も作り、病院ができました。ある日、けがをした赤ちゃんをだっこしたママが来ると、心配して「大丈夫?」「お薬ね、そーっとぬりますね」「痛いよね~」と、とっても優しいお医者さん、看護師さん。治療が終わると病院のベッドでおむつをつけてくれました。優しくしてもらったこと、うれしいことを日頃の経験から感じている子どもたち。優しい心に育って欲しいですね。